

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都四条大宮ホテル開発	階数	地上10F、地下1F
建設地	京都市下京区四条通堀川西入唐津屋町535	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	300人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	物販店、ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年5月 予定	評価の実施日	2017年2月9日
敷地面積	649㎡	作成者	株式会社大林組一級建築士事務所 南野 剛也
建築面積	531㎡	確認日	2017年2月9日
延床面積	4,817㎡	確認者	株式会社大林組一級建築士事務所 高橋 洋



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 76%
③上記+②以外の 75%
④上記+ 75%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 1
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
<p>四条通と堀川通にホテルを新築する計画である。格子状の意匠の中に極小に抑えたペアガラスの窓を配し、京都らしい意匠と環境性能を兼ね備えた建物とした。また、高効率の設備機器の採用によりさらにエネルギー消費量を削減した計画としている。</p>	特になし。	
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>化学汚染物質について内装材には全面的に規制対象外、告示対象外の建材を採用している。また床面積に対し十分な自然換気可能開口面積を確保することで利用者が能動的に空気質環境の向上を行えるよう配慮した。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>更新間隔の長い内外装材、ダクト、配管などを採用し建物耐用性の向上に配慮した。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>外壁には曲線を用い周囲への圧迫感を感じさせない建物形状とした。また高層部外壁には瓦調のタイルを用い、低層部にはルーバーや瓦をモチーフとするタイルを採用している。加えて、1階軒先にには勾配屋根を設けることで、全体と</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>客室において複層ガラスを採用し、熱負荷低減と客室内の騒音低減に配慮した。太陽光パネルやLED等高効率設備を採用しエネルギー消費量の削減を図った。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>再利用可能なユニット部材OAフロアの利用や、内装材と設備が錯綜しない収まりとすることで解体時に分別可能とし部材再利用性の向上に配慮した。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>ライフサイクルCO₂の削減に配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される